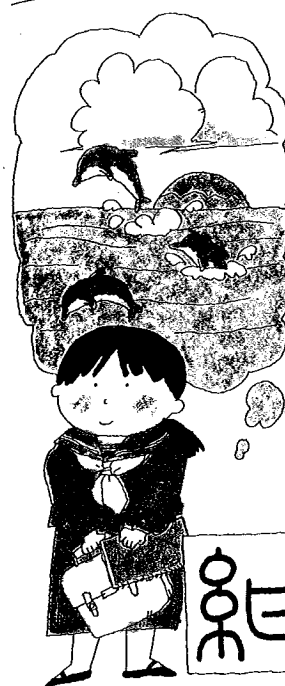


紺

おん
コン

11画
く
ま
ろ
糸
紺
紺

「つぎ出る」
なりたち 含(含む)の意味の仮借(か)である甘(コン)は(異音)と、糸系の意味の糸との形声字。赤い色を含んだ青い糸系のこと。青と紫を混ぜた色。昔は、色は糸や織物を染めるのに専ら用いられたので、糸(いとへん)の字が多い。



▼紺(色の名)。
濃紺：紺の濃いもの。濃い色の紺。
用例 濃紺の制服。
紫紺：紫色を帯びた紺。紫がかつた紺。
用例 紫紺の校旗。
紺青：鮮やかなあい色。
用例 紺青の水をたたえた南国の海。
紺地：紺色の地。また、紺色の切れ地(織物のこと)。
▼染め物。
紺屋：染め物屋。
用例 紺屋のあさつて。(約束の当てにならないたとえ)。

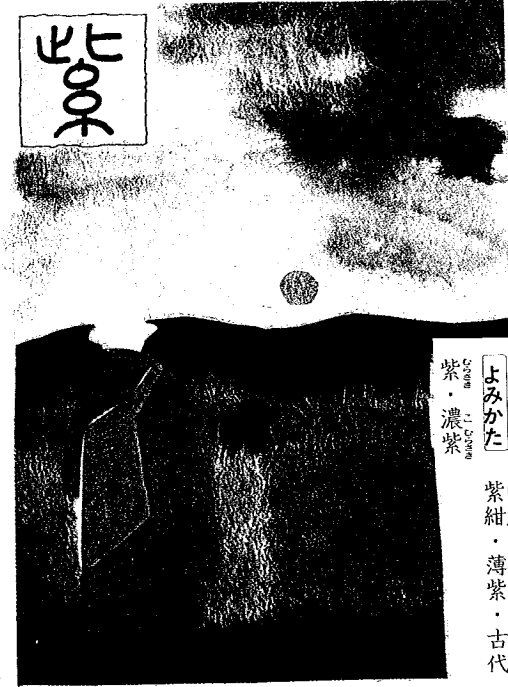
紺紫

紫

おん
シ

11画
一
ト
止
紫
紫

「右上へはらう」
なりたち 色糸、または色の名を表す糸と、此(こ)の形声字で、赤と青との中間色である「紫色」を表した字。



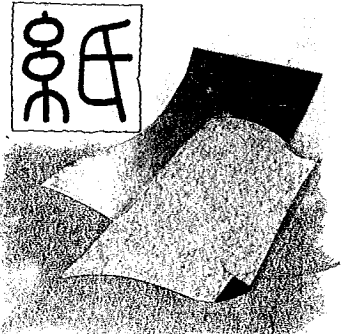
▼紫。紫色。
紫雲：紫色の雲。
紫衣：僧侶(ぼん)の着る紫色の衣。
紫煙：たばこの煙。
紫外線：日光の中の目に見えない光の一つで、日やけの原因となるスペクトル(光を分析したもの)で紫の外側に位置する。
よみかた 紫紺・薄紫・古代紫・濃紫

紙

おん
かみ

10画
夕
糸
紙
紙

「はわる」
なりたち 砥(し)に平らにするの意味を仮借(か)した氏と、繊維の意味の糸との形声字。繊維を薄く平らに延ばして作った「紙」を表した字。砥は砥石(し)で、表面が平らなので、「平らにする」の意味がある。



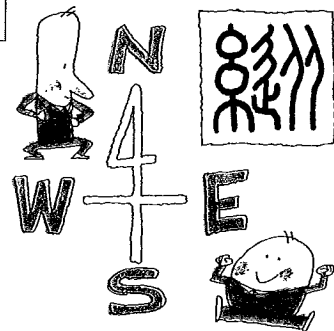
「つみこまへ」

▼紙。
用紙：ある事のために用いる紙。
用例 答案用紙。
洋紙：西洋式の作り方で作った紙。パルプなどを使う。
和紙：日本古来の作り方で作った紙。奉書紙、障子紙など。

▼紙。
半紙：習字などに使う和紙。全紙の半分の大さき。
白紙：①白い紙。②何も書いてない紙。
用例 白紙に戻す。(検討する以前の状態に戻すことのとえ)。

紙幣：紙でできた貨幣。お札。
紙背：紙の裏。
用例 眼光紙背に徹す。(文字の裏に込められた意味まで読み取る意味)。
▼新聞紙。
日刊紙：毎日刊行する新聞。
紙面：①紙の面。②新聞の記事が書いてあるところ。

紙縦



縦

おん
たて

16画
夕
糸
縦
縦

「とめる」
なりたち 旧字体は縦。並(な)が、左右(横)に人が並んだ形であるのに対し、従(し)は、前後(縦)に人が並んだ形で「縦」の意味がある。縦は、織物の「縦糸」を表した字。転じて、「縦」。また、「縦横(自由)」の意味。

「つみこまへ」

▼縦。南北。上下。
縦貫：縦(南北)に貫くこと。
用例 縦貫道路。
縦断：①縦(南北)に断ち切ること。②南北に通り抜けること。
用例 九州を縦断する。
縦線：縦(上から下)に引いた線。縦の線。
反横線

▼縦。
縦走：①縦(南北)に走ること。
用例 東北を縦走する山脈。
②山を尾根伝いに歩くこと。
用例 南アルプスを縦走する。
縦隊：縦に並んだ集団。
用例 選手団は縦隊で行進した。

縦横：①縦横。縦と横。②東西と南北。上下左右。③自由自在。思うまま。
用例 縦横無尽に暴れ回る。
▼縦横(思うまま)。
縦覧：思うままに見ること。
勝手に見ること。
放縦(ほうじ)：気ままに行うこと。